

さくらじょうあと
佐倉城跡

佐倉市指定史跡、日本100名城

佐倉城は、中世に千葉一族の鹿島幹胤もくたけが設けた城を江戸時代になって土井利勝が大幅に作り替えた城です。

江戸の東方の防衛拠点として土井利勝以降、石川氏、堀田氏、松平氏、大久保氏、戸田氏、稲葉氏といった江戸幕府譜代大名が城主となり、8人の城主が老中（土井利勝は年寄と呼ばれた。）に就任しました。延享3年（1746）に堀田正亮が城主となって以降は堀田氏が6代にわたって城主となり、



① 大手門

歷代城主

藩 主	官 職	老 中	石 高	入 封 年
土井 利勝	大炊頭	年寄	142,000	慶長 15 (1610)
石川 忠総	主殿頭		70,000	寛永 10 (1633)
松平 家信	紀伊守		40,000	寛永 12 (1635)
松平 康信	若狭守		36,000	寛永 15 (1638)
堀田 正盛	加賀守	○	110,000	寛永 19 (1642)
堀田 正信	上野介		110,000	慶安 4 (1651)
松平 乗久	和泉守		60,000	寛文元 (1661)
大久保 忠朝	加賀守	○	83,000	延宝 6 (1678)
戸田 忠昌	山城守	○	71,000	貞享 3 (1686)
戸田 忠真	山城守		67,800	元禄 12 (1699)
稲葉 正往	丹波守	○	102,000	元禄 14 (1701)
稲葉 正知	丹波守		91,000	宝永 4 (1707)
松平 乗邑	左近将監	○	60,000	享保 8 (1723)
松平 乗佑	和泉守		60,000	延享 2 (1745)
堀田 正亮	相模守	○	110,000	延享 3 (1746)
堀田 正順	大蔵大輔		110,000	宝暦 11 (1761)
堀田 正時	相模守		110,000	文化 2 (1805)
堀田 正愛	相模守		110,000	文化 8 (1811)
堀田 正睦	備中守	○	110,000	文政 8 (1825)
堀田 正倫	相模守		110,000	安政 6 (1859)

明治2年（1869）の廃藩置県を迎えました。

佐倉城は石垣を持たない、「土づくり」の城ですが、その縄張り（城郭のプラン）は、戦国時代から発達してきた城普請の集大成と言われています。

明治6年（1873）に陸軍第一軍營東京鎮台の佐倉營所が設置されると、城内の建物は順次取り壊されました。



② 一の門



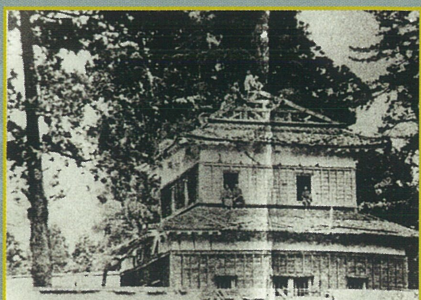
③ 二の門



④ 三の門

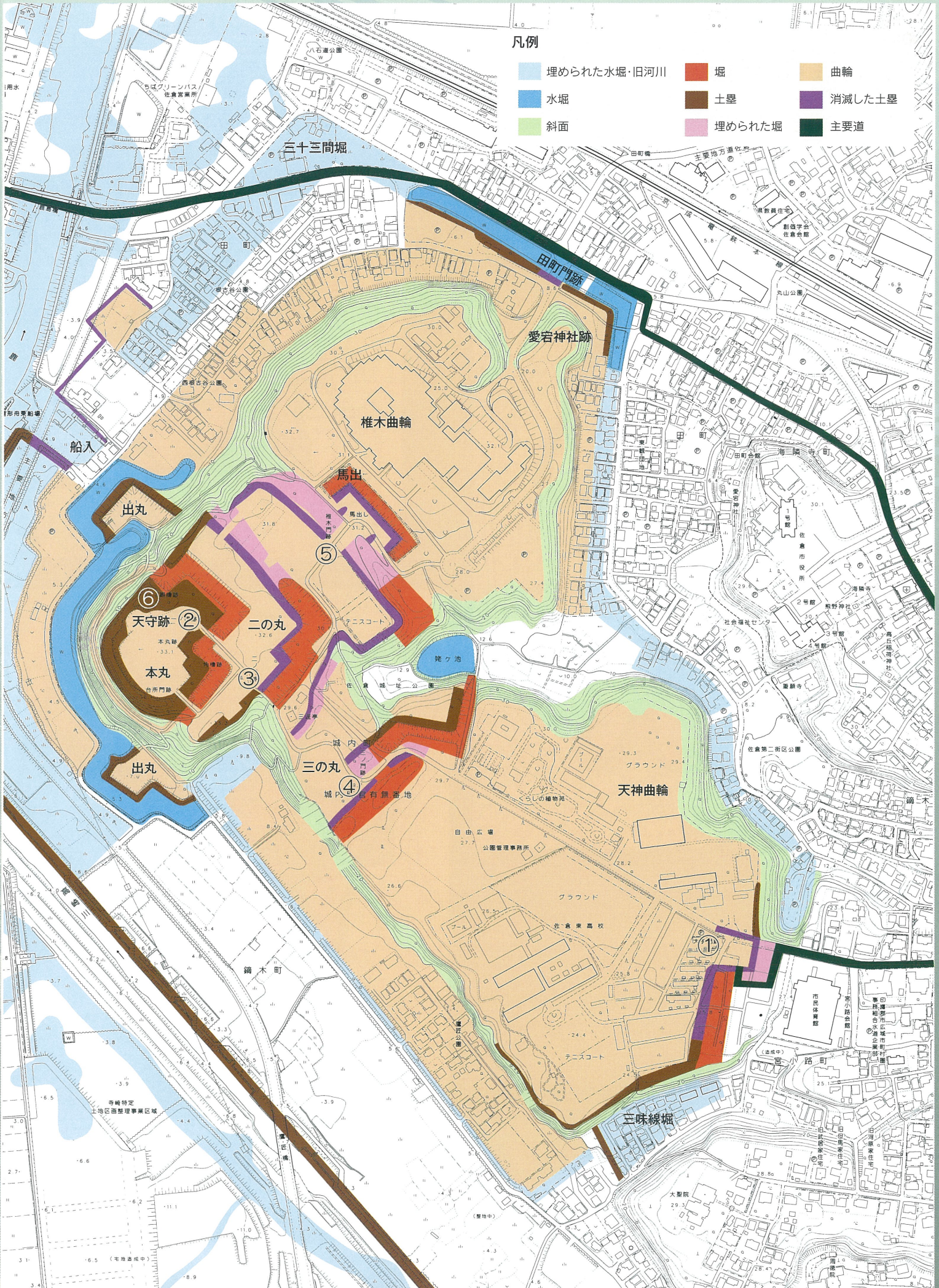


⑤ しいのきもん
椎木門



⑥ 銅機

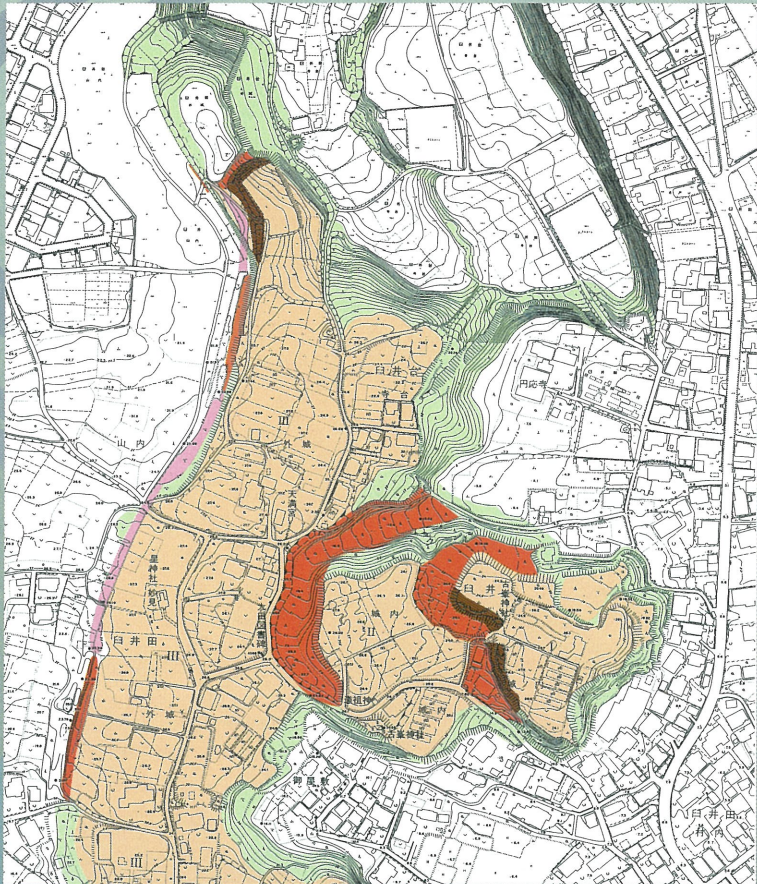
※佐倉城古写真はすべて個人蔵



うす い じょうあと
臼井城跡 佐倉市指定史跡

臼井城は、もともと臼井氏の城でしたが、戦国時代後半には原氏が城主となり、江戸時代初頭には酒井家次が城主になりました。臼井城が廃城となるのは、慶長9年（1603）酒井家次の転封時です。

臼井城はⅠ・Ⅱ郭といった主要な曲輪の外側にⅢ郭を設け、さらに城のある台地縁辺部に支城を作り外敵に備えました。臼井田宿内砦跡は、その支城のひとつと思われます。



うす い だ しゅううちりであと
臼井田宿内砦跡

臼井城は、城のある台地縁辺部に支城を作り外敵に備えました。臼井田宿内砦跡は、その支城のひとつと思われます。



凡例
斜面 堀 土塁 埋められた堀 曲輪 消滅した土塁

いわとみじょうあと
岩富城跡

岩富城は、中世に原氏が城主であった城と思われます。江戸時代には、北条氏勝が徳川家康から一万石をあてがわれて、入城しました。

五角形をした主郭を中心として、曲輪が配置され、城下町も整備されたと思われます。慶長18年（1613）の北条氏転封によって廃城となりました。

問合せ先

佐倉市役所：〒285-8501 千葉県佐倉市海隣寺町97番地
お城について：佐倉市教育委員会文化課 TEL043-484-6192
公園について：佐倉市都市部公園緑地課 TEL043-484-6165
発行：平成27年3月

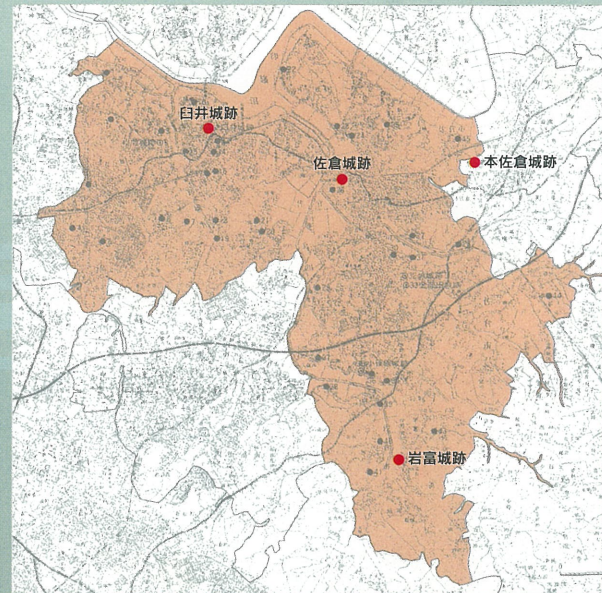
お城のあるまち 佐倉

佐倉市内の城館跡は、国指定史跡本佐倉城跡（佐倉市・酒々井町）など、現在58か所が確認されています。市内のどこどこに土塁や空堀などお城の痕跡を見ることができます。

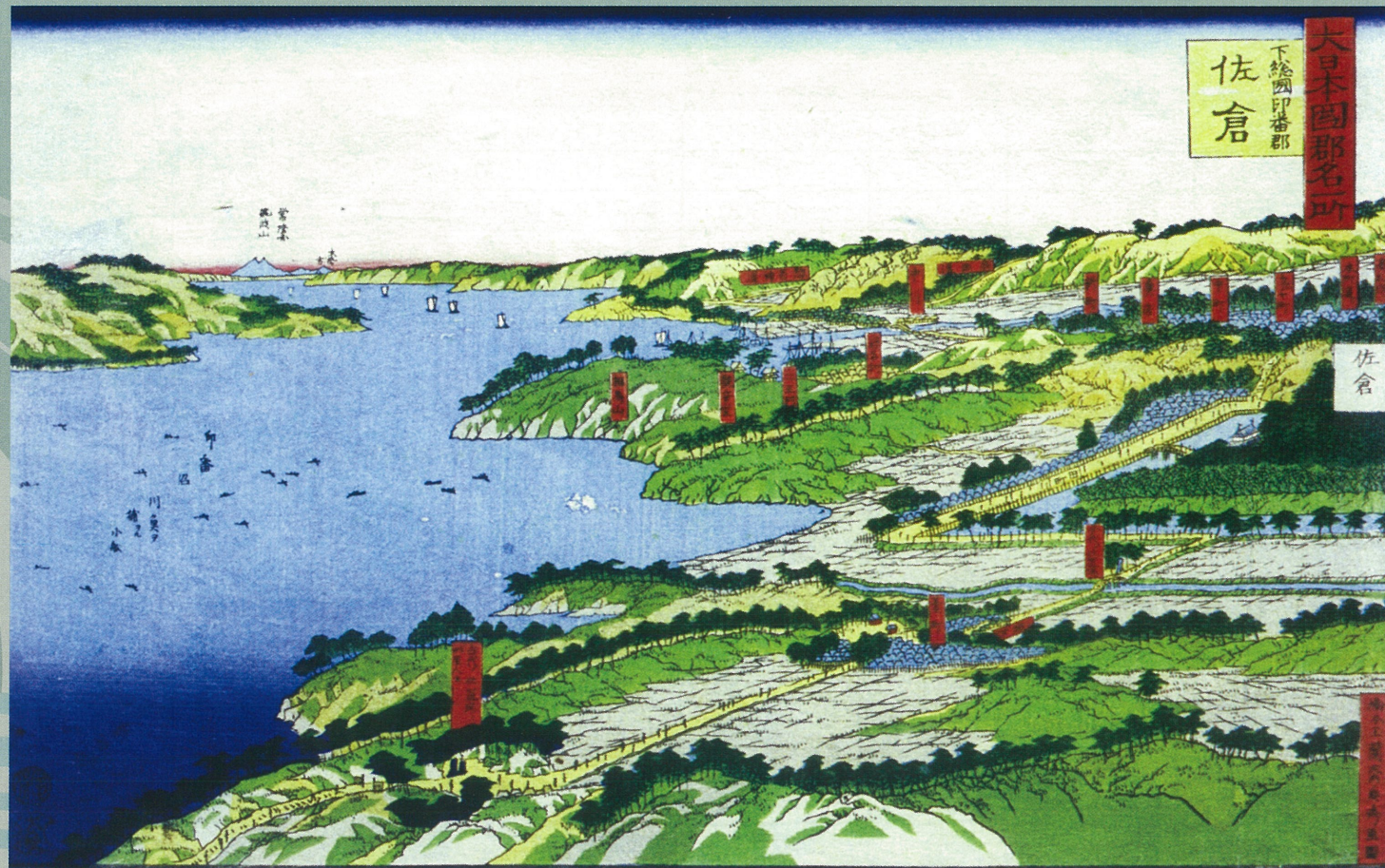
今のところ、佐倉では鎌倉時代の城館跡は、その存在は推定されていますが、はっきりと遺構等が確認された所はありません。佐倉市内で城館が盛んに作られ始めるのは、現在は室町時代と考えられています。

戦国時代後半になると、次第に広い地域を支配する大名勢力が現れ、その拠点となる城館が作られます。その代表的な城が、国指定史跡となった本佐倉城跡です。

佐倉では、臼井城跡や岩富城跡といった戦国時代末期から江戸時代初期にかけて使用された拠点城郭の遺構が残されています。さらに、土井利勝によって佐倉城が築城され、城下町も整備され、江戸時代の房総における中心地として佐倉は発展を遂げました。



佐倉市の中近世城館跡位置図



大日本国郡名所 下総国印旛郡佐倉 橋本玉蘭斎貞秀 明治元（1868）年（個人蔵）